交通案内

福岡市博物館へのアクセス

- **福岡空港** — 地下鉄（約19分） 福岡空港・博多・天神 → 西新（1番出口） → 徒歩（約15分）
- **博多駅**（JR鹿児島本線） — 西鉄バス（都市高速経由で約25分） 博多バスターミナル5・6番のりば → 博物館北口／博物館南口／福岡タワー → 徒歩（約5分）
- **西鉄福岡（天神）駅**（西鉄天神大牟田線） — 西鉄バス（都市高速経由で約20分） 天神高速バスターミナル前1Aのりば → 徒歩（約5分）
- **西新駅**（福岡市地下鉄空港線） — 徒歩（約15分）／西鉄バス（10～15分） 西新駅（旧西新パレス前） → 福岡タワー → 徒歩（約5分）
- **福岡インター**（九州自動車道） — 粕屋ランプ（約15分）
- **太宰府インター**（九州自動車道） — 水城ランプ（約20分）
- **拾六町インター**（西九州自動車道） — 福重・石丸ランプ（約10分）
- → 百道ランプ（約3分） → 福岡市博物館

展示室案内

常設展示室	「FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと」をテーマとし、福岡の歴史と人びとのくらしを紹介しています。
企画展示室	歴史や文化に関するさまざまなテーマを設け、博物館収蔵資料や館外の文化財を展示します。4室あり、2か月程度で内容が替わります。
特別展示室	日本や世界各地の歴史や文化に関する多種多彩なテーマの展覧会を開催します。
体験学習室 みたいけんラボ	アジア各地、九州のおもちゃや楽器、衣服、生活の道具などがあります。自由に手にとることが出来ます。

利用案内

開館時間　午前9時30分～午後5時30分まで（入館は午後5時まで）
※7月26日（金）～8月25日（日）の金・土・日と8月12日（月・休）～15日（木）は午後8時まで開館（入館は午後7時30分まで）

休館日　月曜日（月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日に休館）
※8月12日（月・休）～15日（木）は開館し、8月16日（金）は休館
※年末年始の休館日は12月28日（土）から1月4日（土）まで

常設展・企画展観覧料（共通） ※文化の日（11月3日）は常設展・企画展を無料でご覧いただけます。

区分	個人	20人以上の団体
一般	200円	1人につき150円
高・大生	150円	1人につき100円

※中学生以下無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳（上記の手帳を提示された方の介護者1人を含む）及び、特定医療費（指定難病）受給者証、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証、福岡市・北九州市・熊本市・鹿児島市民で65歳以上が確認できるものをご提示の場合は無料。障害者手帳アプリ「ミライロID」も使用できます。

福岡市博物館 Fukuoka City Museum
〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目1-1
T 092-845-5011　F 092-845-5019
https://museum.city.fukuoka.jp

展示スケジュール（10月～2025年3月）

展示室	10月～12月	年末年始休館日	2025年1月～3月
特別展示室	大灯籠絵 ～11.4（月・休）／11.23（土・祝） 九州真宗の源流		～1.26（日）／2.8（土） 民藝 MINGEIー美は暮らしのなかにある ～4.6（日）
常設展示室	FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと		FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと
企画展示室 1	石里洞秀／10.9（水） 第36回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし 12.22（日）		1.5（日） 民具と生活 ー暮らしの中の意匠、暮らしのための設計ー ～4.13（日）
企画展示室 2（黒田記念室）	墨蹟／10.9（水） 第36回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし 12.22（日）		1.5（日） 民具と生活 ー暮らしの中の意匠、暮らしのための設計ー ～4.13（日）
黒田家名宝展示	黒田家重宝・家宝の如水・長政像 11.4（月・休）／11.6（水） 黒田家伝来の刀装具 12.22（日）		1.5（日） 国宝 刀 名物「圧切長谷部」 2.2（日）／2.4（火） 国宝 太刀 名物「日光一文字」 3.2（日）／3.4（火） 福岡藩主夫人の文芸作品 ～4.6（日）
企画展示室 3	ふくおかのはにわ／10.9（水） 第36回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし 12.22（日）		1.5（日） 民具と生活 ー暮らしの中の意匠、暮らしのための設計ー ～4.13（日）
企画展示室 4	庚寅銘大刀／10.9（水） 第36回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし 12.22（日）		1.5（日） 民具と生活 ー暮らしの中の意匠、暮らしのための設計ー ～4.13（日）

秋季～冬季の特別展のごあんない

特別展示室　**9.13（金）～11.4（月・休）**

大灯籠絵

博多湾沿岸の地域では、町内の寺社の夏季大祭に際し、大きな和紙（約2m×4m）に武者絵などを描き、それを木枠に貼り付けた灯籠をつくり、道辻に掲げる風習があります。地域の人々は、この巨大な絵を「大灯籠絵」、灯籠のことを「大灯籠」と呼び親しんできました。
大灯籠は、神仏に奉納するあかりであると同時に、参拝者に非日常的な心情を引き出させるディスプレイでもありました。本展は、福岡市内に伝わった大灯籠絵約60点を通して魅力ある地域の文化財を紹介します。

大灯籠絵「祐天不動の長剣を呑む図」／福岡市漁業協同組合箱崎支所蔵

大灯籠絵「母子図」／唐人町中年会蔵

大浜流灌頂（博多区大博町）の様子

特別展示室　**11.23（土・祝）～1.26（日）**

九州真宗の源流

親鸞によって開かれた浄土真宗は、親鸞が念仏の教えを説き広めたことにより全国各地に広がりました。
本展覧会では、九州各地に残る浄土真宗寺院の法宝物を一堂に展観し、その教えがどのように九州へ伝わり広まってきたかを紹介します。

親鸞聖人絵像　真教寺蔵

特別展示室　**2.8（土）～4.6（日）**

民藝 MINGEIー美は暮らしのなかにある

日々の暮らしで用いられてきた手仕事の品の美に着目した、思想家・柳宗悦が説いた「民藝（民衆的工藝）」。
本展では、「衣・食・住」をテーマに、美しい民藝の品々約150件を展示するほか、いまに続く民藝の産地を訪ね、その作り手と、受け継がれている手仕事を紹介します。現代のライフスタイルと民藝を融合したインスタレーションも見どころのひとつです。

（左2点）緑黒釉掛分皿　因幡牛ノ戸　1931年頃
（右）蝋石製薬煎　朝鮮半島　朝鮮時代 19世紀
いずれも日本民藝館蔵　Photo: Yuki Ogawa

※予定は変更する場合があります。最新情報は、当館ホームページ・SNS、またはお電話にてご確認ください。

秋季からの企画展のごあんない

企画展示室 1・2・3・4　**10.9（水）～12.22（日）**

第36回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし

福岡市博物館は、皆さまからの寄贈・寄託や購入によって多彩な資料を収集しています。本展では、令和3年度に収集し、整理と調査を終えた、考古・歴史・美術・民俗の各分野にわたる資料を、一堂に集めて公開します。

企画展示室 1・2・3・4　**1.5（日）～4.13（日）**

民具と生活 ー暮らしの中の意匠、暮らしのための設計ー

民具（生活用具）は暮らしに適した形状で設計され、生活を彩る意匠が施されます。民具の形や素材、意匠などに着目し、生活と民具の関係を紹介します。

企画展は、歴史・考古・民俗・美術の各分野の学芸員が企画しています。
おもに、このような文化財からなる展示です。
古文書や歴史資料／発掘で出土した遺物／くらしの記録や道具／日本やアジアの古い美術品／いろいろな分野から

イベントのごあんない

福岡ミュージアムウィーク 2024　5.18（土）～5.26（日）
5月18日の「国際博物館の日」にあわせて開催する、福岡市内のミュージアムをお得に楽しむ9日間。期間中、福岡市博物館の常設展示室・企画展示室の観覧料が無料になります。※イベントの詳細はホームページ等でお知らせします。

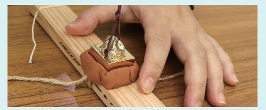
トワイライトミュージアム　7.26（金）～8.25（日）
期間中の金・土・日と8月12日（月・休）～15日（木）は午後8時まで開館時間を延長します。（入館は、午後7時30分まで）

常設展ギャラリートーク

2階常設展示室内にて、学芸員が展示資料について解説します。事前予約不要、参加費無料です（常設展示室の観覧料は必要です）。

※詳細はホームページ・SNS等でお知らせします。

国宝 金印「漢委奴国王」
年に8回開催予定。常設展示室に常時展示している国宝の金印について解説します。

テーマでめぐる常設展
年に4回開催予定。広報誌「Facata」の特集「テーマでめぐる常設展」でとりあげた資料を中心に、展示室を案内します。

みんなのミュージアム
金印のレプリカをつかった封泥体験などのイベントを開催します。
※詳細はホームページ等でお知らせします。